

年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科： 芸術 科目： 書道Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 光村図書「書Ⅱ」 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|---|---|
| ・書の内容の理解や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の内容に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。 | ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の内容を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 | ・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の内容と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 表現 |   |   | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|---|---|----|---|---|----|------|---|---|---|------------------|
|   |   | 漢  | 仮 | 仮 |    |      |   |   |   |                  |
| <p>単元 「はじめに 個性豊かな漢字の姿」</p> <p>【知識及び技能】<br/>「書道Ⅰ」で学習した三分野それぞれの特徴や構成等の要素と表現効果、書の特質について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、書の効用と現代的意義について考え、よさや美しさを味わって深く捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>芸術科書道への関心・意欲を高め、主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</p> | <p>・漢字の五書体の変遷と、その歴史的背景を理解する。</p> <p>・各書体の字形や線質の特徴を捉え、古典の豊かな個性を味わう。</p> <p>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の特質について理解する。</p>   | ○  |   |   | ○  |      | ○ | ○ | ○ | 6                |
| <p>単元 漢字の書「篆書」</p> <p>【知識及び技能】<br/>漢字の書を構成する様々な要素や、篆書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>主体的に篆書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む。</p>  | <p>・篆書の特徴や成立について理解する。</p> <p>・蔵鋒や中鋒など篆書の特徴的な用筆・運筆を理解し、習得する。</p> <p>・「泰山刻石」を鑑賞・臨書し、小篆の特徴である縦長で左右対称の字形や均一な線の太さ、正確な点画の配置などを理解する。</p> <p>・「石鼓文」を鑑賞・臨書し、小篆と比較をして大篆の動きのある書風を感じ取る。</p> |    | ○ |   | ○  |      | ○ | ○ | ○ | 6                |
| <p>単元 漢字の書「隸書」</p> <p>【知識及び技能】<br/>漢字の書を構成する様々な要素や、隸書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>隸書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>主体的に隸書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む。</p>  | <p>・隸書の特徴や成立について理解する。</p> <p>・蔵鋒や中鋒、波磔など特徴的な用筆・運筆を理解し、習得する。</p> <p>・「乙瑛碑」「曹全碑」「石門頌」などの各書風に即した用筆・運筆を意識して臨書し、表現技法を理解・習得する。</p>  |    | ○ |   | ○  |      | ○ | ○ | ○ | 8                |



年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科： 芸術 科目： 書道Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 光村図書「書Ⅱ」 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| ・書の内容の形式や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。 | ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 | ・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 表現     |   |   | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|---|---|--------|---|---|----|------|---|---|---|------------------|
|   |   | 漢<br>仮 | 漢 | 仮 |    |      |   |   |   |                  |
| 単元「仮名の書」<br>【知識及び技能】<br>仮名の書構成する様々な要素や、仮名の古筆と特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>主体的に仮名の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む。      | ・「書道Ⅰ」で学習した仮名の成立や特徴、用筆・運筆などを復習する。<br>・「高野切」の伝来と「第一種」「第二種」「第三種」の意味、和歌の内容と大意、書風、連続や墨継ぎによる表現の美を感じ取る。<br>・「本阿弥切本古今和歌集」と「関戸本古今和歌集」の比較、臨書を通して、それぞれの用筆・運筆、表現の違いについて理解する。 |        |   |   | ○  | ○    |   |   |   | 8                |
| 単元「漢字仮名交じりの書」<br>【知識及び技能】<br>漢字仮名交じりの書構成する様々な要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>主体的に幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む。 | ・「書道Ⅰ」で学習した漢字仮名交じりの書の特徴について復習する。<br>・書く言葉を決め、古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かし、書体・書風・紙面構成、漢字と仮名の調和などの観点で作品の構想を練る。<br>・試作を重ね、表現を工夫して作品を仕上げる。<br>・全体で作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。   |        |   |   | ○  | ○    |   |   |   | 8                |
|   |   |        |   |   |    |      |   |   |   | 合計               |
|   |   |        |   |   |    |      |   |   |   | 52               |